

様式第 3 号(第 4 条関係)

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称 令和元年度 松川町健康づくり推進協議会

2 開催日時 令和元年 6 月 18 日(火) 午後 7 時 00 分 から 午後 8 時 30 分まで

3 開催場所 松川町役場 2 階 中会議室

4 出席者氏名

【委員】 11 名(敬称略)

中平文夫 宮澤豊 中塚龍也 宮澤國光 小松敏美 小沢誠 清水祐一 松井章 宮澤佳子
細江依子 根本智美

【事務局】 3 名

米山政則 北沢百合子 大橋良平

5 議題(公開)

- (1)松川町健康増進計画「健康まっかわ 21」の概要について
- (2)平成 30 年度評価について
- (3)令和元年度の重点的取組について
- (4)その他(受動喫煙防止について)

6 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7 傍聴人の数

0 名

8 会議資料の名称

—

9 会議の概要

- (1)開会

(2) 会長あいさつ（清水祐一会長）

(3) 町長あいさつ（宮下智博町長）

(4) 協議事項

① 松川町健康増進計画「健康まつかわ 21」の概要について

【質疑・応答】

（協議事項①・②と一括して行う）

② 平成 30 年度評価について

【質疑・応答】

委員：大腸がん検診を日赤で受診すると健康診断と同時実施が可能との説明があったが、当日申込でできるということか。

事務局：事前に容器を送付するため、当日申込はできない。

委員：今年度から特定健診の問診票に、噛み方や甘い物の摂り方といった質問項目が増えた。こうした質問により得られるデータを、歯周病健診の受診勧奨に活用してみてもは。

委員：特定健診受診率が H29 と H30 の比較で一気に向上した印象を受けるが要因は何か。

事務局：特定健診対象者の国保脱退等、構造的な要因はあるが、中塚医院や上片桐診療所からの情報提供件数も成果に結びついている。ただ、絶対に受けないという人もいる。

委員：絶対に受けないという人の理由は何か。

事務局：受診が面倒という理由が多い。また、若いときから健診を受けることが習慣付いていないことも要因にある。

委員：高齢期の食育について「水曜クラブ」はどのような活動をしているのか。

事務局：介護予防の観点から歯科医、栄養士、柔道整体師が連携して指導している。対象者は限定されている。

委員：食に関する学習について、肥満児への支援は何か考えているか。

事務局：養護教諭部会と連携して検討していく。

委員：肺がん検診について、飯島町ほかでヘリカルCTによる撮影で成果が出てきているが松川町での導入検討は。

事務局：日赤と検討する。高森町でも導入したと聞いている。

委員：日赤でヘリカルCTの受診は可能か。

委員：町による受診料補助は無いが、7,000 円で受けられる。健診につき保険適用外となるが、他の病院と比べて安い価格設定になっている。

委員：松川町でもがんの罹患が多いのであれば、もう一步踏み込んだ健診メニューを検討してみても良いと思う。

③令和元年度の重点的取組について

【質疑・応答】

委員：歯周病健診について、昨年度からのスタートということもあると思うが、受診率が伸び悩んだ様子。では、どうすれば受診率が上がるのかを考えなくてはならない。受診券の送付から半年経過したところで、未受診者に対して電話フォローをすとか、役場等の人の集まる場所にポスターを掲示する等、告知のしかたを工夫してみてもいい。

事務局：今年度当初に、細かい情報は載せず視覚的に目立つメッセージを載せた歯周病健診のチラシを作成し、組合回覧にて発信してみた。引き続き情報発信の手法を考えていく。

委員：歯周病予防は幼少期からの習慣づけが重要。保育園や小学校でしっかり指導して、口の中の清潔感を保つよう習慣づけて欲しい。むしろ、子どもの習慣が親の教育になることもある。

④その他（受動喫煙防止について）

【質疑・応答】

委員：公民館関連施設も敷地内禁煙もしくは屋内禁煙のいずれかの該当になってくる。単に規制に沿った対応をするだけでなく、利用する未成年者を本当に受動喫煙から守る取組になるように旗振りをして欲しい。

委員：かつて県の施設で屋内禁煙を実施したところ、喫煙者が外に溢れて見栄えが悪いと問題になったことがある。そうした事態にならないよう留意してもらいたい。

委員：以前、地元の会所は思い切って屋内禁煙にした。その後の反応を心配していたが、みんなルールを守って煙草は外で吸っている。喫煙場所は玄関のすぐ隣にあり本質的には受動喫煙になっていないかもしれない。ただ、これ以上隅に追いやるのも難しいと感じる。

委員：会所といえば、自治会での健康学習会開催を今後も注力してもらいたい。医者とか学識経験者よりも身近な保健師の方が住民は話を聞いてくれるように思う。自身も保健師の指導があってよかったと感じている。

委員：どんなにいい施策を打ち出しても、細やかな配慮がなくては成果に繋がらない。まちづくり懇談会で、PRのするのも一つの手だと思う。難しい予算の話ばかりしているより、有意義だと思う。

(5)閉会（宮澤佳子副会長）